

第1回 三重県立白山高等学校「活性化協議会」概要

令和2年6月24日

欠席者なし

新型コロナウイルスの影響により、予定通り開催できない可能性もある協議会は公開のために録音し、概要をHPに載せます。

1. 挨拶

校長

学校運営協議会と同日での開催することで、会議の充実を図ります。

6月になり、3密等に配慮しながら学校再開ができるようになりました。

2. 自己紹介 資料1

委員名簿に従い、自己紹介

3. 確認事項

(1)白山高等学校活性化協議会設置要綱 資料2

(2)令和元年度白山高等学校活性化協議会概要 資料3

・年間3回実施

・活性化の方向性・課題と改善策

○活性化プランに基づく課題について、ほぼ達成することができた。生徒の頑張り、地域や保護者の理解が得られているものの、志願者数の増加につながっていない。白山高校で勉強してよかったと思えるような学校づくりをする必要がある。

○授業の満足度は86.1%で良好。学力が何によって上がったのか検証が必要。

○地域との連携した学びは長期インターンシップが中心になる。

○インターンシップ先が生徒の進路先とリンクしているのかという点については、製造業に就職する生徒が多い現状中、安全等に配慮した内容で就業体験を終えてしまう場合が多いが、挨拶や仕事に向かう姿勢を養うことにはつながっている。

○部活動加入率72.3%と上昇している。その一方で、部活動終了後の名松線の混雑、女子生徒の部活動加入率の低さが改善課題である。

○部活動活性化プロジェクトとして野球部を指定していたが、2年間の実施期間が終了した。次のクラブの指定をお願いしたい。

○中学校や保護者、地域に対して情報提供をする。公開授業等により学校を直接見ていただく。

4. 副議長の指名

学校運営協議会・会長の吉田健一さん

5. 報告事項

(1)学校運営協議会について 資料4

今年で4期の8年目。

地域と連携した取り組み

学校運営協議会の意見・・・白山の生徒は変化してきている。授業や行事への参加の姿勢がよくなっている。一方で、自己肯定感の低い生徒が多いので、それらを植え付けさせるようにつなげる。今後の方向性・・・協議会の意見が主体となってきた。地域との交流を持つことで生徒にも変化が現れたので今後も継続したい

学校運営協議会の年間計画・・・第2回は10月22日(木)に訂正。第5回は2月18日(木)に訂正。両日とも活性化協議会と同時開催の予定。

例年は8回行っているが、コロナの影響を考慮し、今年度は5回行う。

(2)令和2年度学校マネジメントシート 【資料5】

- ・自尊感情やコミュニケーション能力を高める取り組みをして欲しい。
- ・キャリア教育の充実と部活動の活性化の両立を図るために、長期インターンシップにおける学校周辺の受け入れの開拓が必要である。
- ・オリジナル商品である白山フランクを積極的にアピールする。
- ・今ある学校資源の有効利用を検討するべきだろう。
- ・時間外労働を縮減し、先生方の休暇取得日数を増加していただくよう、意識改革をしていきたい。
- ・行動計画として、確かな学力と規範意識の育成を目標に掲げ、基礎学力の定着と向上、規範意識と社会性の育成、卒業生を招いた講演会、他者を大切にす人権意識の向上、学校の活性化などの学校指標からそれらを目指そうとしている。
- ・地域と共にある学校作りの推進を目指さなければならない。
- ・昨年度と大きく変わったところは、教職員の働き方改革のところで、月40時間、且つ年間360時間を超える長時間労働の削減をはかるということに対して、変更があった。

(3)新型コロナウイルスへの対応について

昨年度の3月1日の卒業式後、その翌日から休校となった。その後、登校日を設けることができていなかった。3月24日からは3密に配慮しながら部活動等について活動を行った。4月13日に入学式を行い、4月14日には部分登校を行った後、5月末まで休校措置となった。5月の連休明けより、オンラインによるSHRを行い、新入生についても96%の生徒とつながることができた。5月中頃からはビデオ等を見せるオンラインでの授業を開始し、合わせてプリント等を郵送することで学力補充を行いつつ、生徒としての意識付けや生活習慣の指導とした。部活動についても5月の後半から、生徒の運動機会の確保の観点から、施設を開放することが認められた。6月からは感染症への対応として体温の確認、昼食指導、名松線の混雑緩和のための臨時バスの運行などの対策をとりながら学校を再開した。休業期間中、まだ学校に出てきていない生徒、進学就職で個別指導が必要な生徒は、個別で対応させていただいた。

6. 協議事項

(1)令和2年度の協議について 【資料6】

インターンシップについては、事業所への影響を考慮し、就労体験ではなくインタビューを行い、地域の活性化のために活動を行う。自分たちで、白山地域をどう活性化していくかを検討していきたい。

(2)白山高校の現状と課題について 【資料7】

- ・義務教育段階での内容が定着していない生徒や特別な支援が必要な生徒が一定数在籍している。基礎力診断テストにおける学習到達度D3層が88%
 - ・2・3年生でインターンシップを行うことで、生徒の規範意識、就労感などの育成に取り組んでいる。
 - ・部活動の活性化により、生徒の社会性や自己有用感が高まりつつある。
 - ・人口減少に伴い、公共交通機関を使って遠方から通学する生徒が増えている。
 - ・教職員の人数が少ないことから、多様な学習機会を提供することが困難。そのなかでも丁寧に指導に当たっている。
 - ・安全・安心な学習環境の確保や部活動の活性化に伴い、学校が落ち着いてきた一方、かつてのマイナスイメージを払拭できていない現状にある。
 - ・学習意欲が乏しい、学習習慣が定着していない生徒が少なくないので、より一層の授業改善に取り組む。
 - ・より多くの部活動の活性化を図る。
 - ・68%の生徒が名松線を利用していることから、教育活動が列車のダイヤに依拠している。
 - ・多様な学習機会を提供するために、地域の教育力の活用を心がける。
 - ・学校の情報を積極的に発信し、地域から理解を得る。
-
- ・卒業生の進路状況・・・割合は例年と変わらない。「自営・アルバイト・その他」であった4名のうち1名は4月に進路が決まったが、残る3名は、ハローワークなどと連携をとりながら現在も指導を継続している。
 - ・入学者の状況・・・70%の充足率。希望を増やすということももちろん考えなければならないが、少ないけれどもどうしていけば良いかという視点で考えていく必要がある。

【意見交換】

- 在学中にリタイアした生徒が何人いるのか。その数を減らすことが非常に重要。そのために、在籍生徒へどのように支援・教育するかが大切である。
- 卒業生で白山地域の課題解決のために地元就職するという意欲を持って、白山に残っている生徒はいるのか。
- 公務員は地元への就職願望は非常に多い。卒業生は、地元を支える人材となっている。
- 公務員とは、自衛隊がほとんどである。そこまでの高い意識で就職する生徒を育成できていない現状はある。一方で、進学・就職ともに自宅からの通学・通勤を希望している生徒がほとんどである。
- 就職先一覧やインターンシップ事業所一覧や学校案内があるとありがたかった。報告事項を聞いていればよいのか、どこからが協議事項なのか、少し分かりにくかった。
- 事務局側からの提示する内容が多いので、次回は内容を整理して提示していきたい。

(3)令和2年度活性化プランマネジメントシートについて 【資料8】

- ・「3年後にありたい姿」が目標となる。これを元に、方向性・具体的取組を考えている。
- 今年、コロナウィルスの関係で、朝学の時間が取れずに、代わりに感染予防のための意識付けの時間を取っている。
- ・部活動の活性化プロジェクトとして、今年からの2年は陸上部、弓道部を推薦し、承認していただきたい。

【意見交換】

- クラスが減る対象が白山高校に及ぶかもしれない。人数が減ることで学校の力も落ちるのではないか。
- 部活動等を目的に第一志望で入学希望の生徒は一定数いる。白山での学び直しの期待も一定数ある。卒業生に関して、地域で活躍し、家族を作り、次の社会を作っていく、地元に残ってくれる取組みをしていきたいと学校では考えている。本校の魅力として、入学した生徒の力を伸ばすことから外れていってはいけない。
- 来年度、県立高校の入学生は640名減る。白山高校は絶対に減らさないで欲しいという希望である。
- 制度で縛られて、そうしなければならぬということはあるかも知れないが、何とか阻止していつてもらいたい。
- 白山高校の丁寧なご指導、自分の教えた子もマンツーマンでしていただき、安心して子ども達を預けられるという認識を持っている。関係ないかも知れないが、白山フランクがずっと気になっている。白山フランクが出来た、いきさつや、地域プロデュースのノウハウがあったら聞かせていただけたらありがたい。
- 商業部・情報コミュニケーション科が、ミュゼ・ボン・ヴィヴァンさんと共同開発したひね鶏を使ったフランクフルトである。黒豆から作られた味噌をつけて食べる。とてもおいしいと評判で、実際販売実習として、商業部が様々な所へ出向いている。
- 中学生は知っていますか。
- 文化祭に来てもらったことのある子や、地域で見かけたことがある子はいるのでないか。
- コロナのことで、例年と同じ形が取れなくなったときに、恩返しをしていこうと考えた。学校の周辺を盛り上げていけるようなことを進めていきたいと思っている。
- 活性化協議会 2回目以降、皆さんにご意見を言っていただきやすいよう、会議の設定をしていきたい。
- コミュニティーバスに関して、10月にコミュニティーバスの再編をさせて頂くことになっていたが、来年4月に再編を延期していることをお知りおき頂きたい。

7. 連絡事項

- (1) 第2回・・・10月22日(木)